

# グローバル化に 対応した施設整備

イノベーション創出  
に資する施設整備

学生の修学支援  
に資する施設整備

グローバル化に  
対応した施設整備

その他

## 基盤教育拠点の形成とグローバル空間の創出



建物外観

### 基本情報

大学名：山形大学  
建物名：基盤教育1号館  
工期：平成22年8月～平成25年2月  
構造・階数：RC・地上5階  
延床面積：11,540㎡  
事業費（設計費含む）：1,572,000千円



グローバルカフェ

### 整備の方向性

#### ○学生サービス機能と基盤教育の充実化

- ・山形大学では、「何よりも学生を大切にして、学生が主役となる大学創りをする」、「教育、特に教養教育を充実させる」を大学経営の基本方針として重要な整備と位置づけ、耐震性能の改善にあわせ基盤教育拠点の形成等の機能改善を図る施設整備を行った。
- ・本建物は、基盤教育エリアのなかでも中核的な施設で、学生センター、コミュニケーションスペース、能動的学修スペース、講義スペース、教員スペース、災害時対応スペースなどで構成されている。
- ・学生サービス機能と基盤教育を活性化させるキーポイントとして、学生センターとコミュニケーションスペースを隣接配置させたことにより、学生が行き交う活気あふれる空間を作り上げることができた。

### 計画・設計上のポイント

#### ○機能の一元集約化による、基盤教育拠点の形成とグローバル空間の創出

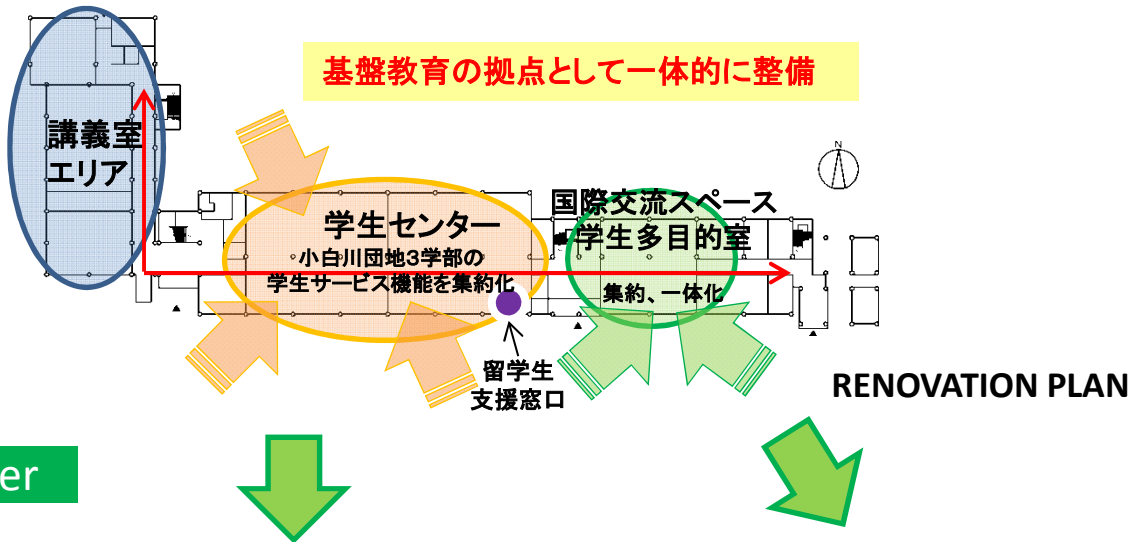
- ・本改修で基盤教育の拠点建物を整備するにあたり、教育研究空間の最適化を意識した整備はもとより、小白川地区3学部の共通事務・学生サービス機能の一元集約化と講義室エリアのスペース整理により捻出されたスペースを、拠点形成に必要な教員スペース、学生支援スペースに当て整備した。
- ・これまで、離れて独立していた国際交流スペースと学生多目的室をさらにフレキシブルな空間利用を目指し、一体化することにより多様な人々との交流が促進されるグローバルな最適空間を整備できた。

計画・設計上のポイント

Before



- ・間仕切りの多い、室利用が限定された閉鎖的な空間
- ・学生サービス機能が分散配置のため利便性が悪い
- ・独立に配置された国際交流スペースや学生多目的室が、様々なニーズに対応できず非効率的な空間
- ・学生及び留学生相談窓口が分かりにくい



After



- 小白川団地 3学部の学生センター
- ・ 小白川3学部の学生サービス機能の集約化
- ・ 建物の中央に配置し学生センターの通り抜けを可能とした配置計画
- ・ 学生及び留学生の相談窓口の明確化

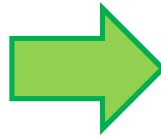
分かりやすく利便性のある、学生サービス機能の充実

- フレキシブルな大空間  
(国際交流スペース・学生多目的室)
- ・ 国際交流スペースと学生多目的室の一体化
- ・ コミュニケーションスペースと学生センターの隣接配置
- ・ 多様なコミュニティー活動に対応できる効率的な空間

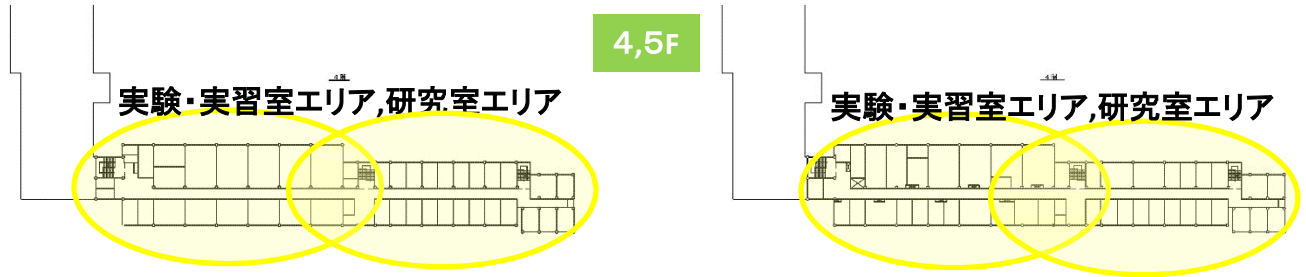
大学の多面的なグローバル活動の推進

計画プラン

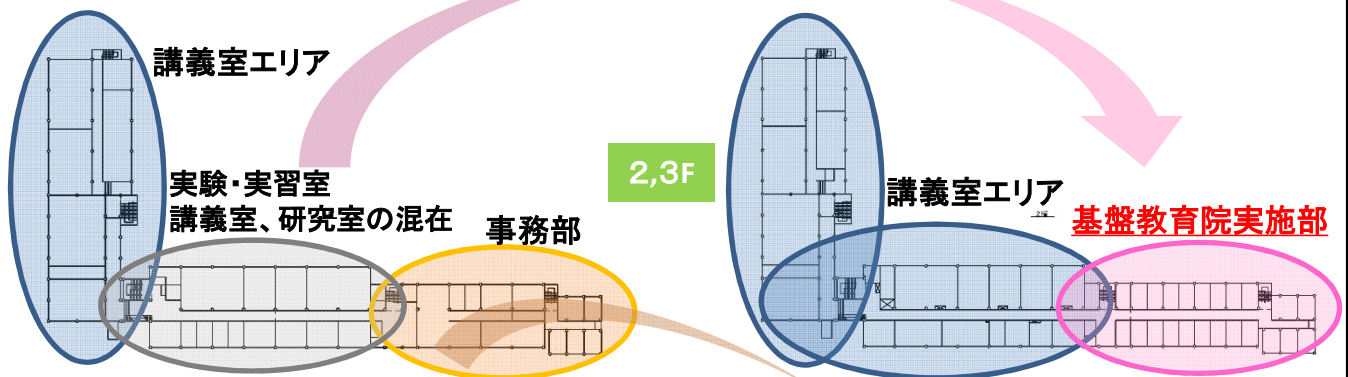
Before



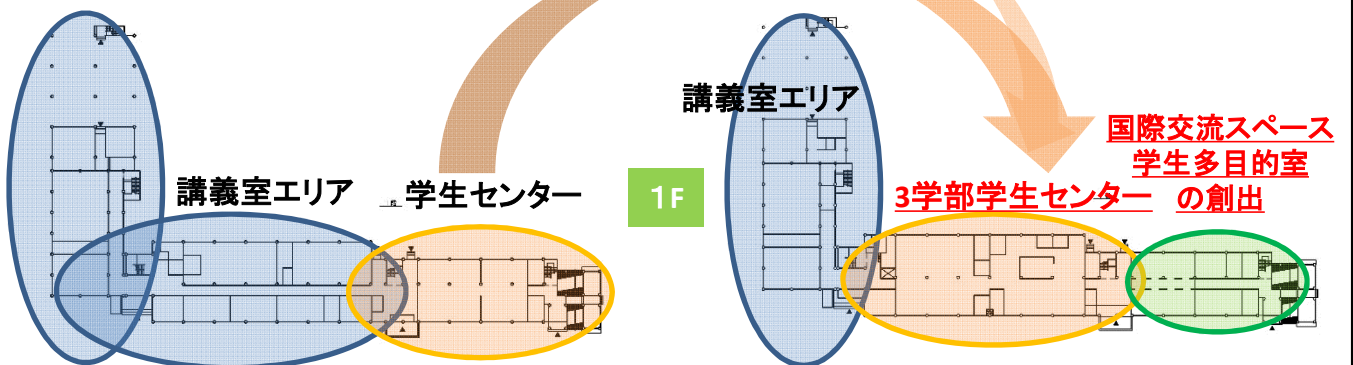
After



各用途スペースの整理配置



共通事務・学生サービス機能の一元集約化



## 施設整備の効果

### ○基盤教育の一層の拡充

- ・「地域を知り、地域の課題を考える山形学・フィールドワーク」、「自分を見つめ直し、社会と向き合うキャリアガイダンス」などの共通的かつ基盤的な教育が一層充実されたことにより、本学における基盤教育の基本理念で謳うような「人間力」「学士力」が養われた優秀な人材が育成され、より多く輩出される。

### ○コミュニケーションによる教育研究機能の促進

- ・国際交流が自然な形で行われるようになったり、ワイワイとしたにぎやかな良い雰囲気がコミュニケーションスペースに足を向かわせ、教育研究など学びへの志向性を育む様々な機会が生み出されるようになった。

### ○グローバル化の推進

- ・改修後、写真のようなグローバルカフェは15回・日本文化授業は2回、他にEnglish Cafeを10回、Welcome Partyを2回（年間）行われ継続的な異文化交流が深まることによって、国際コミュニケーション能力が向上され、教育研究等を含めグローバルな視点を養える。  
また、留学生の地域参画による交流活動を通して地域の方々に国際理解について深められ、山形県全体の国際化に貢献。（自治体の要請によるインターナショナルクッキング、民族演奏会交流、地域の祭事参加等）

### ○学生サービスの充実

- ・学生へのアンケート（学生生活実態調査）によると、留学生が学生センター窓口を利用したことがあるという回答が30%（改修前）から50%（改修後）と利用率が高くなった。理由としては、窓口が分かりやすくなったことや、スペース機能の整理配置により利便性が向上したことが挙げられ、留学生が学生センター窓口を利用しやすくなったという効果がみられる。



改修後

グローバルカフェ



改修後

日本文化授業